

研究課題名	地域包括ケア病棟入院患者における退院先を予測する因子の検討 —入棟時評価を用いた後方視的研究—
試料・情報の利用目的・ 利用方法（他機関へ提 供する場合その方法）	地域包括ケア病棟は急性期病院入院後や、自宅や施設で療養中に緊急で入院が必要になった患者に、治療・リハビリと並行して在宅復帰に向けての支援や準備を行う病棟です。地域包括ケア病棟は、入院期間が最長 60 日間と定められており、入院後早期から円滑な退院支援が求められます。そこで、入院時に動作能力や筋力、認知機能などのデータを取得し、これらのデータを用いて退院先を予測することができるかどうかを検討することにしました。自宅退院された方とそうでない方のデータに異なる傾向が見つかった場合、円滑な退院支援に役立てることができるのではないかと考えました。
研究対象者	2024年12月から2025年11月までに当院の地域包括ケア病棟より退院した65歳以上で、リハビリ介入を実施した患者
利用又は提供する試 料・情報の項目	下記項目を本研究に使用させてください。 退院先、年齢、性別、算定区分、発症から当院入院までの期間、家族構成、介護保険の有無、BMI、BI（日常生活動作の自立度）、HDS-R（認知機能検査）、握力、膝関節伸展筋力、股関節外転筋力、SPPB（動作能力の検査）
研究予定期間	機関の長の実施許可日 ～ 2027年3月
試料・情報の取得方法	カルテ上より情報を取得、あるいはリハビリテーション時に検査、測定をさせていただきます
試料・情報を利用する者 の範囲	この研究は府中病院 地域包括ケア病棟のみで行います
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又 は機関の名称	府中病院 リハビリテーション室 氏名：木村優介
研究に協力したくない場合	研究への情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先までお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはありません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	府中病院 リハビリテーション室 氏名：木村優介 〒594-0076 大阪府和泉市肥子町 1-10-17 TEL：0725-43-1234（代）